

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年									2024年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~1日	12月 ~8日
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	10	8
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	11	7
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	0	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	0	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	1 (3)	2
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第49週(12月2日~12月8日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1	2		2	1	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1		1
四類	2	つつが虫病	1	1						
		レジオネラ症	1				1			
五類	9	侵袭性肺炎球菌感染症	2	1				1		
		水痘(入院例)	1				1			
		梅毒	3	1				1		1
		百日咳	3	1				2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和6年49週(12月2日～12月8日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.31人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は34件の報告があり、急増しています。

県内では、12月5日、県内全域に「インフルエンザ注意報」が発令されました。

手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.00人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.69人の報告があり、増加傾向です。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
小児科	インフルエンザ	515	14.31	11.22	↗	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.37		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	61	1.69		↗	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.02		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	RSウイルス感染症	5	0.22	0.09		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-		↑	↓	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	7	0.30	1.57		眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.60		↑	↓	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.41	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		↑	↓	
	感染性胃腸炎	95	4.13	4.97	↔	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		↑	↓	
	水痘	8	0.35	0.18		基幹	マイコプラズマ肺炎	36	6.00	0.03	↗	↑	↓	
	手足口病	14	0.61	1.11		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↑	↓	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.13		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↑	↓	
	突発性発しん	4	0.17	0.24		基幹								

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	97	10歳代・推定感染地域: 国外、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	28	30歳代・O157
4	レジオネラ症	1	23	50歳代
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	11	10歳未満
5	水痘(入院例に限る)	1	3	20歳代
5	梅毒	1	155	40歳代
5	百日咳	2	34	10歳未満、40歳代